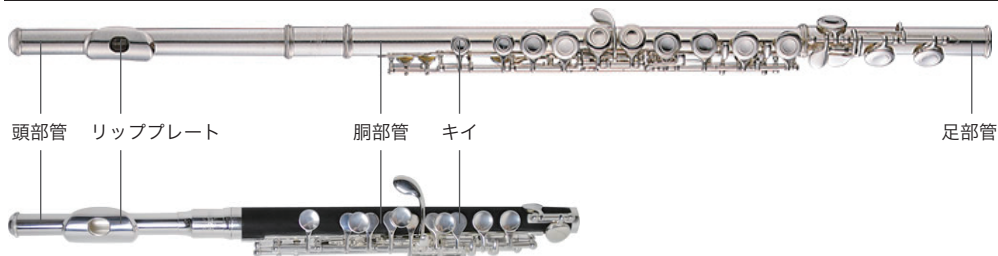


各部の名称



※ピッコロに足部管はありません。

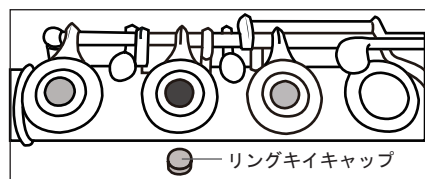
演奏の準備

各部の管を接続してください。組み立ての際にキーが変形しないようご注意ください。

※接続が固い場合は、コルクグリスを塗ってください。(ピッコロのみ)

※フルートで接続が固い場合は、各接続部の汚れを拭き取ってください。(グリスは塗らないようにしてください。)

リングキー モデルについて



リングキーキャップは好みによって取り外してください。キーの上から管の内側に押し出すようにするとキーを曲げることなく安全に外すことができます。

チューニング

楽器の温度や息の角度で音程は変化します。楽器が冷えている場合はまず吹き込んで温めてからチューニングしましょう。

音程は頭部管から胴部管を抜いた幅、頭部管の穴に対して入れる息の角度、息のスピードや息のまとめ方、楽器のコンディションによって変化します。

●頭部管を胴部管から抜いていきチューニングを合わせます。

※管の幅が長くなるほど音は低くなります。

※U字頭部管付きのモデルは、U字と頭部の間は抜かず、U字と胴部を抜いてください。正しい音程が得られなくなります。

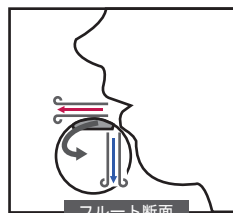
●頭部管のみでA(ラ)の音が鳴ります。

A音が正しく鳴る角度が息を入れる角度の目安になります。(右図参考)

穴に向かって下方向に吹くほど音程は下がり、前方(息を管の中と外に分散する)に吹くと高くなります。

ストローに息を吹き込むようなイメージで吹きます。

息のまとまりが大きいほど音程は下がります。



フルート断面

【音程】

前方：高くなります

下方：低くなります

お手入れ・メンテナンス

●吹き終わったら必ず、クリーニングロッドにガーゼを巻いて管内の水分を除去してください。またタンポが湿っている場合は、吸水性の高い紙をはさんで水分を取り除きます。

※タンポをいためないように注意してください。

●楽器表面に付着した指紋や手脂などを拭き取ります。

汚れが残ったまま保管しますと、硫化・酸化による変色を促進します。またシルバーメッキのモデルは、銀特有の黒ずんだ色に変色する場合がございます。

●ケースにしまう際は正しい向きで収納します。間違った方向に収納するとフタを閉じた時に楽器が圧迫されてキーが変形してしまう恐れがあります。

故障かな・・・? と思ったら

キーが動かない、動きにくい

●バネ外れている。

→針金状の細い金属がキーを持ち上げています。指を刺さないように注意して掛け直してください。

●キーが曲がってしまった。

→ケースやカバーからの出し入れ時や、組立の際にキーを掴んでしまうなどして、キーが曲がってしまう場合があります。販売店へお問い合わせください。

[ピッコロのみ]

ピッコロ胴部管は樹脂素材の為、冬季など気温が下がった際に管体が縮みキー動作の妨げとなる場合があります。時間をおいて状態が改善されない場合は販売店へお問い合わせください。

音が出しづらい

●タンポやキーバランスが狂っている。

→楽器の状態は変化していきます。使用環境に応じてその期間や症状は様々です。

販売店へお問い合わせください。

管の接続ができなくなった

●接続部分の変形

→販売店へお問い合わせください。

●接続部分に汚れや異物が付着している。

→きれいなクロスやガーゼ等で汚れを拭き取ってください。

●楽器を組み立てたまま放置した。

→無理に分解しようとせず、販売店へ販売店へお問い合わせください。